**２０２３年度　サービス評価の改善計画**

1. **チームとして支援できるよう職員同士の連携を強化する**

　　　　　　　　→　お互いがやりやすいように意見を出し合い、支援内容の変更や追加項目、又業務改善等を積極的に行う。情報ノートも有効活用し
情報共有しながらチームで支援する。

1. **まずは自分の担当ご利用者様としっかりコミュニケーションをとり、「～したい」を実現する。**

　　　　　 →　しっかり傾聴し、何に困っているのか、どんな事を希望されているのか、何がしたいのか、どういった事が喜ばれるのか等を探り,

希望や目標を叶える支援をする。ケアマネと一緒に白紙の状態からプランも立ててみる。

1. **個々の思いを「汲み取る（知ろうとする）」「伝える」「記録に残す」**

　　　　　→　表情やしぐさから自分の思いを言葉にできない方の思いを知ろうと働きかけ、言語化できるよう心掛ける。

それらを情報共有し記録に残すように努力する。

1. **ご自宅での様子が今以上に把握できる様に現状を検証する。**

　　　　　　　　→　特に独居のご利用者様に関しては、出来る範囲でランダムに訪問したり、変わったことはないか注意深く観察する。

又サービスを受けている業者との情報共有をする。

1. **本人の生活・その日の状態に合わせた支援は何か探ってみる。**

　　→　固定概念にとらわれず「昨日と様子が違うから今日はこうしてみた」等注意深く観察し、日々の様子や反応を見ながら、
臨機応変に個別支援をしていく。

1. **各種機関との会議等の内容を詳細に知らせ、参加しない職員も理解を深める。**

　　　　　→　法人内の会議や委員会の様に、外部との各種機関の会議についても、その都度話し合った内容を伝えたり会議録を回覧・掲示
する等して、参加しない職員も理解を深めていく。

1. **自分の意見や思いを伝え、みんなで働きやすく楽しい職場を作る。**

　　　　　　→　よりよいサービスを提供する為、自分の意見や考え、改善策等を伝える。法人ボックス以外にやすらぎ内のボックスを設置する。

1. **研修を積極的に受け、他職員に伝える等全体の資質の向上を目指す**→　自分の興味のある研修、個々の立場で受けてもらいたい研修等、積極的に受けてスキルアップを図る。講師の役割も担い他職員に
　　　　　　　伝えていく。その他、無料配信・ズーム等もあるので自分で探して見る。
2. **ご利用者様の気持ち（状況）に寄り添った言動を心掛ける。**

→　行動を制限してしまうような声掛けに気を付ける。又ご利用者様と職員の距離が近くなりすぎない様な言葉遣いや対応を心掛け、
ご利用者様が安心して穏やかに過ごせるように努める。